

## 2.2.2 管理調整部

### アジア太平洋地域の経済環境変化等が国際物流に及ぼす影響に関する研究

Impact of economic partnership and other policies in Pacific-rim countries on international logistics

(研究期間 平成 28 年度～)

管理調整部 国際業務研究室

研 究 官

寺西 裕之

#### [研究目的及び経緯]

世界経済のグローバル化が進展するなか、我が国を含む北東アジア・東南アジア地域においても、経済連携の進展や企業の国際展開（海外進出）、国際的なサプライチェーンの高度化、インフラ輸出の国際競争の激化などがみられる。このような国際経済・貿易・物流に関する環境変化や各国の政策が、我が国および周辺諸国の経済・貿易活動に及ぼす影響を定量的に計測し、その影響を踏まえた定量的な物流動向の分析を行う必要がある。本研究では、貿易の分析を行うために開発された、空間的応用一般均衡モデルの一種である GTAP モデルや、船舶動静に係るビッグデータの分析技術を用いて、関係する経済連携の進捗状況や、新パナマ運河の供用開始（2016 年）の影響も考慮した将来貿易動向や物流動向の分析を行っている。本研究で開発した船舶動静データの分析技術については、JICA の技術協力を通じて、スエズ運河庁における一部複線化が完了した運河の利用促進のための取り組みに協力した。

今年度は、船舶動静データの分析技術の改良を図り、シェール革命が進展するアメリカにおける LPG、LNG の生産・輸出の増加、国内で余剰となった石炭の輸出の増加等の輸送環境変化を踏まえつつ、拡張されたパナマ運河に関するドライバルク船、LNG 船、LPG 船の動静・経路選択等の動向分析を行った。

引き続き、研究成果を我が国の港湾関係技術の国際展開や、海運の輸送効率化等の施策のために活用する予定である。